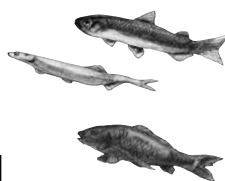


夏の漁師市 開催！

8月9日（日）

午前9時～午後1時頃まで

会場 道の駅「たまつくり」



漁業者の直売会です！ぜひお越しください。

【湖魚販売】

各種佃煮、煮干、甘露煮などの加工品やお惣菜！

【試食】

ワカサギの唐揚げや各種佃煮、煮干をご用意！

※販売品については変更になる場合があります。



【問い合わせ】行方市漁業振興協議会事務局（農林水産課内） ☎ 0291-35-2111

8月13日から8月15日までのごみの収集について

お盆期間中のごみの収集については次のとおりですので注意してください。

8月13日（木）	麻生地区の燃えるごみの収集日 ※燃えるごみ以外は収集しません 美化センター休業日
8月14日（金）	玉造地区の燃えるごみの収集日 ※燃えるごみ以外は収集しません 美化センター休業日
8月15日（土）	北浦地区の燃えるごみの収集日 ※燃えるごみ以外は収集しません 美化センター休業日



※ごみは収集日の朝8時までに集積所へ出してください。

※お盆前後は美化センターが大変混み合います。美化センターへのごみの持ち込みは早めをお願いします。

【問い合わせ】

環境課（北浦庁舎） Tel 0291-35-2111
行方市環境美化センター Tel 0299-72-1853

情報ひろば



行方市の人口

総数 36,952人（-8）
男 18,359人（-1）
女 18,593人（-7）
世帯数 12,761世帯（+16）
平成27年7月1日現在
※外国人住民を含む
（ ）は前月との比較

行方市民憲章

やさしい自然
かがやく人
わたしたちがつくる
魅力あるまち、行方市



市の花 ヤマユリ 市の木 イチョウ 市の鳥 シラサギ
（山百合）（銀杏）（白鷺）

行方市のうた

（1番）
われを育む 里山は
大地の恵に 満ちあふる
朝日 湖に輝き
夕日 山の端そめる
ああ ふるさと わが希望
（2番）
祭りばやしに 心おどろ
風土記の里に 童の声はすむ
谷津田 風にそよぎ 稲穂
黄金に輝く ああ ふるさと
ああ わが 安らぎ
（3番）
古のなごり 受けつぎし
大空 はばたく 子どもらの
夢を 育む 学舎は 拡く心の
礎ぞ ああ ふるさと
ああ わが未来 あー

市役所 開庁時間

平日（月曜～金曜）
午前8時30分～午後5時15分
※休日窓口業務については、
お問い合わせください。

真心込めた、自慢のお料理でおもてなし

宴会料理

ご婚礼・お子様の節句・祝い事の会合など
様々なご要望に対応

お一人様 予算 3,000円～ 承ります

築地から仕入れる新鮮な魚介類を中心にした料理

◇大小九つの宴会場は約300名収容可能

ご婚礼・ご宴会

◇無料マイクロバス送迎も要相談

ニュー **ますみ** TEL0299-55-1550 ●行方市芹沢 1790
http://new-masumi.com/ FAX0299-55-3073 ●月曜日定休
(祭日の場合は営業)

スマートフォンをお持ちの方は、
2次元コードから行方市公式ホームページをご覧ください。



行方市公式ホームページ
閲覧用2次元コード

— 女性が変われば社会が変わる? —

茨城県厚生農業協同組合連合会 代表理事理事長 高橋 恵一

現在、女性に求められている社会的役割は、大変大きく広範な分野に亘っています。

労働力不足への期待、男性社会への新鮮な意見、少子化による人口減対策としての出生率向上、国際比較での女性参画率向上などですが、少々皮肉って考えると、女性の負担増による、行き詰まった男性社会の修正にしか見えません。したがって、相変わらず、家族の代表も、地域のリーダーも男女両方いれば男性。決定権は男性が手放そうとしません。^{にいますさんまる}「2030」も内容が大切です。

医療の世界では、男性医師と看護婦が定番でしたが、現在は、看護の世界に男性看護師が増えており、医師や薬剤師、検査技師なども女性が多くなり、数の上では、男女共同の状態に進んでいます。茨城県厚生連では、医師に占める女性の割合は19%、全職種の管理職に占める割合は36%です。勤務条件も、女性が働きやすくするため、24時間保育や育児期の柔軟な勤務体制、男性職員の育児休業の設置などに取り組んでいます。

女性の進出が影響を及ぼすためには、仕事や政治・経済に対する女性の意識の積極的改革を必要とするのが「女性（おんな）が変われば社会が変わる」ですが、比喩的に言えば、「おとこが変われば家庭が変わる」も無いと、不公平な気がします。

いわゆる「男は仕事、女は家庭」という言い方の中には、片方の負担が少ないという意識が潜んでいます。家事や育児・介護を手伝うという、結局、主体は女性です。一方、仕事の延長での飲み会やゴルフは、男性の既得権です。職場の飲み会やゴルフにしても夫婦同伴が当たり前という、西欧社会のようにならないのでしょうか。台所にも手伝うのではなく共同で立つ。

家庭の在り方が変わるような男性の意識変革があつてこそ、男女共同参画社会が成り立つのだと思います。

タイトルを、「女性も男性も変われば社会が変わる！」に書き直します。



なめがた地域総合病院の病棟で働く職員たち